

ぶっくらぶ 30号

2005・10

http://www.geocities.jp/maebaru_bookclub/ 辻 324-4181

前原市長選挙 公開質問状回答

松本

熱意を持って取り組みますが
任期中の総合図書館建設は難しい

河野

回答いたしません

北畠

前原市の街づくりの核となる
本格的な総合図書館を建設すべき。

松 本

前原市図書館ぱびるす館は不十分。図書館の政策優先順位は5位ですが、熱意を持って取り組みます。「知の拠点」の核となる図書館構想を練り上げたい。司書教諭の配置に努力する。

北 畠

前原市図書館ぱびるす館は不十分。図書館の政策優先順位は2位。街づくりの核として、早期に本格的な総合図書館の建設検討を開始したい。司書教諭・学校図書館司書配置に努力する。



前原市長選挙 公開質問状回答

質問 前原市総合図書館

任期中に前原市総合図書館建設を建設しますか？

	総合図書館建設		理 由
北 畠	はい	いいえ	現代、地域社会において総合的な図書館は市民にとっての常備品です。また市民の知的好奇心のためにも図書館はあって当然です。総合的な図書館建設は、前原市の街づくりの核となる重要な位置にあり、市民の皆様の考え、アイデア、ノウハウなどを十分踏まえたうえで建設すべきものです。
河 野	はい	いいえ	回答なし
松 本	はい	いいえ	第4次(H18~22)期間中の総合図書館建設は難しいと判断します。まずは「ぱびるす館」運営を軌道に乗せ、公共図書館の役割を行政、市民が一体となって考え、九大学研都市としてふさわしい「知の拠点」の核となる図書館構想を練り上げたい。糸島1市2町合併も考慮して進めていきたい。

質問 学校図書館

学校図書館を充実する施策について

	学校図書館を充実する施策
北 畠	学校図書館という器に、私たちは「魂」を入れなければなりません。この魂を入れることが、今日忘れられています。私たち大人が、子どもたちをどのように育てて行きたいかが問われています。子どもたちの常備品である学校図書館に上記施策を優先することが、魂入れに直結します。
河 野	回答なし
松 本	学校図書館の充実とは21世紀の中核を担う子どもたちを育成する上で重要な課題であると認識しております。小規模校への司書教諭の配置などは実施すべきと考えますが、その財源の確保について国、県から支援(補助金の助成)も必要と考えます。

質問 意見交換

定期的な意見交換を要望

	意見交換について
北 畠	私は市民参加型・市民対話型の行政づくりを目指しています。情報公開もどんどん進めます。従って、お考えのような意見交換の場に時間が許す限り出席します。
河 野	回答なし
松 本	積極的に意見交換していきましょう。どのような意見交換の場を設けるのかも、相談したいと考えております。

質問 前原市図書館ぱびるす館 ぱびるす館の充実について

	十分な施設		施 策
北 畠	はい	いいえ	ぱびるす号の継続運行。ぱびるす館は規模が小さく、これを本格的図書館に位置づけることは無理です。従って、ぱびるす館は子ども図書館的なコンセプトとし、子どもたちの知的好奇心を満たすものにしていきたい。そして、早期に本格的な総合図書館の建設検討を開始したい。
河 野	はい	いいえ	回答なし
松 本	はい	いいえ	今度開館する「ぱびるす館」は福岡市の区立図書館と同程度のひろさであると認識を持っています。小規模で図書館機能を高める施策として インターネットによる蔵書検索の充実、貸し出し業務の(予約)の拡大。校区公民館、学校図書館などとネットワークを構築し、身近な場所で図書の貸し出しが出来るシステム作り。 ユニバーサルデザインを考慮して、図書館構築を目指します。レファレンスサービスの充実。「ぱびるす館」運営のノウハウを蓄積し、総合図書館構築の材料とする。

質問 政策の優先順位 前原市総合図書館の順位

	政 策 優 先 順 位	
北 畠	1	財政改革の断行
	2	学力向上、安心して学べる環境づくり
	3	みんなが誇れる「まえばる」街づくり
	理由	行政サービスを行うにしてもお金が必要です。市民参加型による行財政改革を断行することにより、財政余力を高め、使えるお金を増やします。このお金を市民ニーズが高い問題、例えば教育関連や街づくり関連(この両方に図書館問題が入ります)に回します。
河 野		回答なし
松 本	1	行財政改革の推進
	2	中学校学校給食の早期実現
	3	九州大学移転を活かしたまちづくりの推進
	4	乳幼児医療費無料化の拡大
	5	総合図書館建設及び学校図書館の充実
	他	安心安全のまちづくり等
理由	あえて順位を5位となったが熱意を持って取り組みます。	

追加

松本氏：平成18年度から全小中学校に学校図書司書(嘱託職員)を配置。事業費1500万円。

北畠氏：平成18年度から学校図書館への司書の配置。事業費200万円。

ぶっくらぶの図書館論

平成 17 年 7 月に、より多くの人々が活字文化に親しむための環境整備を目指す「文字・活字文化振興法」が成立、施行されました。これから国や地方自治体は、公共図書館の適切な配置や司書の充実、学校図書館の図書資料と職員の充実、必要な財政措置などを行うよう努力することが求められています。

同法の施行に伴う「施策の展開」のリストには

- 1 公立図書館設置基準の改革(自治体単位から人口比へ)
- 2 小規模校(12 学級未満)への司書教諭の配置
- 3 司書教諭の担当授業の軽減、専任化などの推進
- 4 学校図書館図書整備の充実・予算化(専任学校司書の配置)

などが盛り込まれています。

さて、前原市の第 4 次総合計画には前原市総合図書館の建設が謳われています。この度施行された『文字・活字文化振興法』による公立図書館設置基準の改革(自治体単位から人口比へ)、『公立図書館の望ましい基準』に沿って、現在策定中の「第 4 次前原市総合計画後期基本計画(平成 18 年度～22 年度)」に前原市総合図書館計画・前原市総合図書館建設を組み入れ、早急に総合図書館の建設に着手することが望まれます。

現在、充実した総合図書館のない街で暮らす子どもたちにとって、学校図書館の充実是最優先課題です。前原市におきましても 2001 年度に成立した「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく「前原市子ども読書推進計画」の作成ともども、上記の施策を早急に展開していただきたいと考えています。

また、11 月中旬に前原市図書館ぱびるす館が開館予定です。この図書館は糸島 1 市 2 町合併を予測し、暫定的に約 750 平米、蔵書 3 万~5 万冊の小規模図書館として建設されました。文科省の『公共図書館の望ましい基準』によれば、人口 6 万 5 千人の前原市の図書館規模は約 4000 平米になっています。わたしたちは前原市図書館ぱびるす館の規模で総合図書館開館までの図書館サービスを支えるためには、前原市の図書館基本計画を立て、十分な人材・資料費による計画性のあるサービスを展開する図書館政策が必要だと考えます。

このような現状を踏まえ、前原市長選挙を好機に、市長立候補予定者の皆様に前原市の図書館政策について公開質問状を提出しました。

各候補の皆様におきましては、お忙しい中、丁寧なご回答をありがとうございました。